

全体の課題

結論:問題はやる気ではなく、時間制約と構造にある。

課題1

雇用継続の不確実性がある

現在本業としている勤務先では業務縮小が進んでおり、今後の雇用継続には不確実性があります。

そのため、現職を前提にしたまま受け身で構えるのではなく、働き方の選択肢を持てる状態をあらかじめ整えておく必要があります。

課題2

営業が仕組み化されていない

過去の個人事業主時代は、営業や集客を自力で回し続ける必要がありましたが、継続的に受注へ繋がる導線や再現性のある仕組みを整えられていなかったため、案件獲得が属人化し、継続が難しくなりやすい状態がありました。

課題3

稼働時間に制限がある

本業と並行する場合、平日夜と土曜日が主な稼働時間です。

育児、本業、体調を無視した進め方では継続できないため、限られた時間の中で回る構造が必要です。